

官民連携で小型発信機の実証実験を開始

～小型発信機(新型ビーコン)を児童や高齢者の見守りに活用～

【概要】

この度、民間事業者2社と連携し磐田市で小型発信機（新型ビーコン）の実証実験を行います。

本市では、「ICTの活用・推進による市民サービス向上」を第2次磐田市総合計画に掲げており、今回の実証実験に参画し、市民サービス向上の可能性を検討します。

自治体のメール配信サービスを利用し、地域住民に搜索を要請し、早期解決を目指すというシステムは、国内初となります。

磐田市の安全・安心のために実証実験に積極的に協力し、本市もICTを利活用した市民サービスの向上を目指します。

【関係事業者】

- ・サービス開発元：NTTコミュニケーションズ株式会社
- ・サービス提供元：株式会社SBS情報システム
- ・実験協力自治体：磐田市

【内容】

NTTコミュニケーションズ株式会社が開発した小型発信機（以下「ビーコン」という。）を活用した位置検索サービスの商用化に向けて、実証実験を行います。

【実証実験の対象】

- (1) 児童の見守り（大藤小学校・東部小学校）
- (2) 高齢者の見守り

【実証実験内容】

子どもや高齢者の見守りを行うため、市内の2小学校及び同地区の地域包括支援センター管内から希望者を募集し、11月、12月の2か月間、実証実験を行います。

ビーコンの発信する電波を、車に搭載したセンサーやコンビニ等に設置する固定センサー、地域住民等のスマートフォンアプリを利用して位置情報を把握することで、ビーコンを所持している方の足取り等の手がかりを提供します。

新型ビーコン（イメージ）



到達距離：最大300m



固定・移動センサー

特徴

小型でポケットに入るサイズ。
常に電波の信号を発信。
電波の信号は、固定センサーやアプリのセンサー（スマートフォンアプリ）でキャッチ。
ボタン型電池で1年間くらい動作し、電池交換が可能。

【問い合わせ】

情報政策課 TEL0538-37-4818